

## 社会

## 5年生 | 「自然災害から人々を守る」

## 自然地名から身近な地域の土地の特徴と災害との関連について学ぼう

## 1. はじめに

どの土地で、どのような自然災害が起こり得るの  
かを知っておくことで、自然災害に備えておくこと  
が可能となる。本稿では、第5学年「自然災害から  
人々を守る」の実践を紹介する。

## 2. 「自然地名」と災害との関連を知ろう

自然地名とは、地形にちなんでつくられる特定の  
場所を表す地名である (①、p.22)。これらの地名と  
災害との関連について、後記の【引用・参考文献】を  
もとに一部をまとめたものが表1である。

●表1 自然地名の読みと起こり得る災害

自然地名の読み (漢字)	災害
クボ (久保・窪)、カモ (加茂・鴨)、ナミ (波・浪)、イケ (池)、イナ (猪名・伊奈・稲)、ハタ (端)、フクロ (袋)、エ (江)、ウキ (浮・宇喜)、ウラ (浦)、カマ (鎌・釜)、ミノ (美濃・箕面)、アイ (合・相・会・英)、ワダ (和田)	水に関係する災害
キリ (切)、マヤ (摩耶・眉・迷)、アユ (鮎)、アリ (有)、アラ (嵐・荒)、イモ (芋)、オガ (小川・男鹿)、クワ (桑)、サル (猿)、ハナ (花)、シギ (嶋)、トリ (鳥)、ナギ (薙・那岐)、ワシ (鷲)、オリ (折)、ムギ (麦・牟岐)	土砂に関係する災害
ツル (鶴・都留・水流)、ナダ (灘・名田)、アシ (足・芦)、アカ (赤)、アオ (青)、マイ (舞・米)、クラ (蔵・倉・桜)、タキ (滝・多気・多喜)、イタ (板・伊丹・井田・潮来)、ヤ (矢・八)、ヤシキ (屋敷)、ヤギ (八木)、クマ (熊・球磨・久万)、ジャ (蛇)	水や土砂に関係する災害

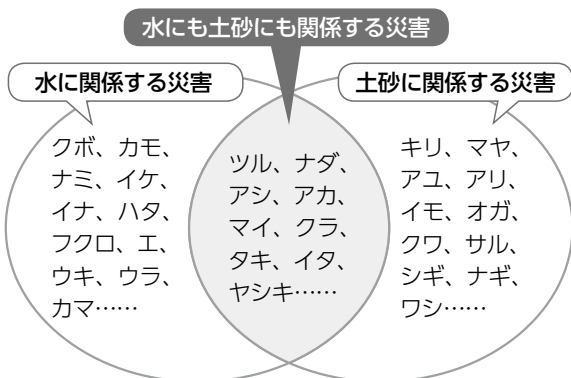
注：カッコ内の漢字は他の漢字を使うことがある。

「水に関係する災害」とは、洪水、冠水、浸水、高潮、津波を意味している。また、「土砂に関係する災害」とは、土石流、がけ崩れ、地滑りを意味している。「水や土砂に関係する災害」とは、水害と土砂災害の両方に属していることを意味する。たとえば、「ツル」

は、「鶴」「都留」「水流」の漢字が当てられ、「水路のある低地」(②、p.253)を意味したり、「傾斜地の場合は地すべり地」(③、p.208)を意味したりする。

授業にあたっては、まず、「自然地名の読み」を提示し、下の図1のように分類させる。その際、国語辞典を使って、自然地名の発する音の意味を調べさせると地名のイメージが広がり、効果的である。

●図1 災害別に自然地名を分類させるベン図



## 3. ハザードマップで確認しよう

最後に、ハザードマップを用意し、身近な地域に「自然地名の読み」が含まれている地名を探す。なお、ハザードマップは、各市町村のHPから入手することができる。子どもたちは、身近な地域に想定されている災害の種類を知るとともに、土地の特徴を知ることになる。日本で相次ぐ災害は、遠く離れた土地で起こった昔話ではない。身近な地域でも起こり得る自然災害に備えるために、土地の特徴と災害との関連について知ることが必要である。

## 【引用・参考文献】

- ①武光誠『地名から歴史を読む方法』河出書房新社 2011.2
- ②谷川彰英『地名を生かす社会科の授業』黎明書房 1986.7
- ③遠藤宏之『地名は災害を警告する』技術評論社 2013.2
- ④太宰幸子『災害・崩壊・津波 地名解』彩流社 2013.3
- ⑤青柳正樹『怖い地名 幸せを呼ぶ地名』ベストセラーズ 2011.8